

各位

会 社 名 株 式 会 社 ケ ア 21 代表者名 代表取締役社長 依 田 平 (JASDAQ・コード:2373) 問合せ先 取締役経理部長 遠 藤 昭 夫 (TEL.06-6456-5697)

業績予想数値と実績との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成28年10月28日に公表いたしました平成28年10月期(平成27年11月1日~平成28年10月31日)の業績予想数値と、本日公表の実績数値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 10 月期 通期業績予想数値と実績との差異 (平成 27 年 11 月 1 日~平成 28 年 10 月 31 日)

(1)連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
	22,500	400	260	50	21.61
実 績 値 (B)	22,568	404	281	△230	△99.72
増 減 額 (B-A)	68	4	21	△280	
増 減 率 (%)	0.3	1.1	8.4		
(ご参考)前 期 実 績 (平成 27 年 10 月期)	20,707	782	658	337	145.13

(2)個別業績

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円	百万円	百万円	円 銭
	20,000	200	20	8.58
実 績 値 (B)	20,069	220	△240	△103.38
增 減 額 (B-A)	69	20	△260	
増 減 率 (%)	0.3	10.4	_	
(ご参考)前 期 実 績 (平成 27 年 10 月期)	18,328	592	339	144.81

2. 業績予想数値と実績との差異および特別損失計上の理由

当連結会計年度は、介護報酬引き下げの影響を受けたことにより、特に当社の施設系介護事業の収益性が低下いたしました。また、介護人財の教育事業を展開している連結子会社 EE21の首都圏を中心とした介護資格取得講座の受講生が伸び悩み、同様に収益性が低下いたしました。以上の理由により、当該事業の固定資産について減損の兆候が認められることから、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、当第4四半期連結会計期間において、減損損失4億17百万円を特別損失に計上いたしました。

ただし、税効果会計の適用により、当該減損損失が親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額は $\triangle 2$ 億 89 百万円となります。

以上